

公益社団法人美濃市シルバー人材センター
平成30年度事業報告

我が国の総人口は、平成20年にピークを迎え、その後少子高齢化が進展し、平成30年10月1日現在、1億2,644万3千人となり、前年と比較すると26万3千人の減少で、長期の人口減少過程に入っています。一方65歳以上の高齢者人口は増加を続け、平成30年10月1日現在では3,557万8千人と前年と比較すると42万6千人の増加となっています。さらに2042年に3,878万人でピークを迎え、その後は減少に転じると推計されています。

美濃市においても人口減少・少子高齢化が進む中、国の65歳までの定年延長施策等により、当センターも60歳代前半の入会者が減ったことによる新規入会会員が伸び悩み、入会を希望する会員が年々減少する一方、高齢を理由に退会する会員が増加し年々会員数が減少してまいりました。

こうした中、会員数減少対策として、毎月の入会説明会のほかチラシ、パンフレットの全世帯配布、市内のイベントでのPRや市民参加の講習会の開催などを実施し、加入促進を行いました。減少に歯止めをかけるには至りませんでした。

また、受注状況を見ますと、受託事業におきましては年間を通して昨年を上回る受注となり対前年度比4.2%増となりました。一方、人手不足などにより昨年度大幅に伸びた派遣事業は、前年度並みの受注となり対前年度比2.2%増という数字に留まりました。

結果、受託事業と派遣事業合わせた総受注金額は前年度を3.8%ほど上回る9,903万円となりました。

今後も、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立」、「共働・共助」の基、会員の拡大、就業機会の拡大、適正就業の徹底、安全対策に取り組むとともに、会員・役職員が一体となって事業運営に取り組んでまいります。

平成30年度の事業実績と経過については、次のとおりです。

◎主な事業実績

受託事業

項目	平成29年度	平成30年度	対前年比較
会員数	302人	296人	98.0%
受注件数	2,452件	2,447件	99.8%
契約金額	78,019,032円	81,260,910円	104.2%
就業延人員	18,858人	18,731人	99.3%

※受注件数は延べ件数

派遣事業

項目	平成29年度	平成30年度	対前年比較
会員数	53人	42人	79.2%
受注件数	36件	42件	116.7%
契約金額	17,367,091円	17,748,908円	102.2%
就業延人員	3,429人	3,594人	104.8%

※受注件数は延べ件数

◎事業実施結果

1. 事業実績

別表（1）事業実績

別表（2）職群別事業実績

別表（3）年度別契約金額の推移

2. 会員の状況

別表（4）会員登録状況

3. 普及啓発活動

- ・広報（機関）誌「シルバー美濃」を発行し、関係機関に配布すると共に、市内全世帯に配付してセンター事業及び会員の活動状況等をPRしました。
- ・「事務局だより」を毎月発行して、会員との情報交換に努めました。
- ・公民館等にチラシ、パンフレットを配布して事業の周知を図りました。

4. 就業拡大と就業率の向上

- ・チラシ、パンフレットを活用して就業機会の開拓やセンター事業のPRに努めました。
- ・毎月第3水曜日に入会説明会を行いました。

5. 講習会等の開催

- ・剪定講習会

日時：平成30年11月12日

場所：美濃市図書館前庭園 12人

- ・襖・障子張替講習会

日時：平成30年11月20～21日

場所：前野作業所 5人

6. 安全対策

- ・11月28日（水）に岐阜県シルバー人材センター連合会と安全委員会で合同の安全パトロールを実施しました。

・事故発生状況

《 傷 害 事 故 》

年 度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
発 生 件 数	1	0	0	0	2
就 業 中 事 故	1	0	0	0	2
途 上 事 故	0	0	0	0	0

《 賠 償 事 故 》

年 度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
発 生 件 数	3	2	3	3	1
対 人	0	0	0	0	0
対 物	3	2	3	3	1

・平成30年度事故内容

〈傷害〉

屋内作業中転落・転倒による骨折等 2件

〈対物〉

除草作業中飛び石により車の窓ガラス破損 1件

7. 長期就業の是正

- ・適正就業の推進のため、会員の適正就業推進要綱に基づき、長期就業の是正に努めました。

8. シルバー派遣事業の実施

- ・会員の就業機会の確保と就業の選択肢を増やすとともに、適正就業と多様化する就業形態に対応するためのパンフレットを活用し派遣事業の推進に努めました。

9. 独自事業

- ・会員の自主的な組織の「石鹼部会」と「焼きいも部会」が、産業祭、あかりアート展のイベント会場や道の駅などで「うだつ石鹼・石焼きいも・さつまいも」の販売を行うことによりシルバー人材センターをPRすることができました。